

らいてうの家

…平和・協同・自然のひろば…

通信 23 号

2011. 10. 5

らいてうの家

〒386-2201 長野県上田市真田町 長十の原1278

TEL/FAX 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-20 5F

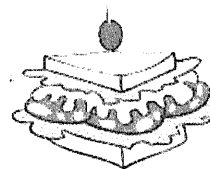
TEL/FAX 03-3818-8626

これからのイベント

10月16日(日) 子どもまつり — 親子で遊ぼう —

11:00~15:00 会場:古城緑地ひろば 古城庵(真田町 信綱寺の前)

- ・サンドイッチ作り(会費 350 円)
- ・お日さまバンドで歌おう(本原小学校)
- ・親子で森あそび(NPO やまぼうし自然学校)



10月23日(日) むかし語りの会…Ⅲ

13:00~15:30 会場:らいてうの家

—真田地域に生きた女性たちの 戦前・戦後—

〈文京区『青鞥』創刊 100 周年記念講演会〉 『青鞥』から現代へ—わたしたちが引き継ぐもの

会場:文京シビックホール 小ホール(都営地下鉄大江戸線・三田線 春日駅直結)

日時:12月18日(日) 13:30~16:00 定員:300名(無料)

申し込み方法等は文京区報(11/10号)、チラシをご覧ください。

〈第一部〉 記念講演:「無名の祖母から引き継いだこと」 田中優子さん(法政大学教授)

〈第二部〉 「『青鞥』100年のメッセージを聴く」

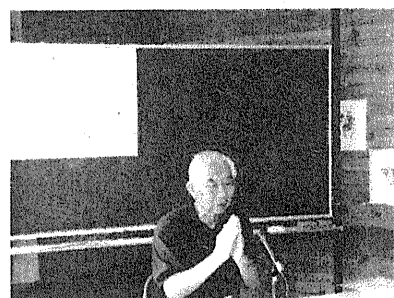
奥村直史さん(平塚らいてう 令孫)、海藤隆吉さん(富本一枝 令孫)

コーディネーター 米田佐代子さん(NPO 法人平塚らいてうの会会長)

文京シビック内 1F 展示ギャラリーで、『青鞥』百年記念展示を12月19日午後から12月23日まで行います。らいてうの会所蔵の遺品も展示します。どなたでもご自由にご覧ください(無料)。

あずまや高原笹刈りの集い

7月24日(日) 森の講座Ⅰは、まず、10~11時まで長野県葉草園の研修棟で葉草研究家の牧幸男さんから「森のいのちに学ぶ~熊笹の物語」と題する講義をうかがいました。短い時間でしたが、熊笹は、一般に「熊笹」といわれていることが多いが、葉の縁が白く隈どられていることから「隈笹」が正しい、ただ、風の道に当たるクマザサは必ず隈取が生じるが、風があまり当たらず、冬の間雪ノ下になるクマザサは、雪解け後も隈取はできないなどの貴重なお話を伺いました。その後、らいてうの森で苗木の周りの笹刈りを、チェーンソーと鎌で刈り取り汗を流しました。昼は、コラボ食堂の美味しいお弁当を頂いているところへ、サクソフォニストの中川美保さんが訪れ、サクソフォンの美しい調べを奏でてくださいました。午後は、西牧美二さんの案内で、短時間でしたがらいてうの庭とその周りで、この土地の自生の植物について学ぶことができました。クマザサについての資料をご希望の方は、若干ですが残部がありますのでご連絡ください。



葉草研究家の牧幸男さん

9月、多彩な『青鞥』創刊百周年の催し、各地で

- ◆ 3日には東京港区で、「いま、青鞥を生きる」のつどい。福島瑞穂さんたちの呼びかけで羽田澄子さんや中山千夏さん、吉武輝子さんたちが参加、米田会長も「ショートスピーチ」で気を吐きました。
- ◆ 8日には東京日仏会館で「『青鞥』100周年シンポジウム」、『青鞥』評論集をフランス語に翻訳するプロジェクトがあって、「なぜ今『青鞥』翻訳か？」が話題になりました。
- ◆ 『信濃毎日新聞』は、8月30日から4回にわたって「創刊から100年、青鞥の女性たち」を文化面に連載。『青鞥』にかかわった信州の女性たちにスポットをあてて紹介した力作です。
- ◆ 昨年オープンした真田図書館では、らいてうの会の協力も得て「『青鞥』創刊百周年記念展示」を開催、らいてうの自伝や奥村博史の『めぐりあい』、小林登美枝さんの著書をはじめ、ご遺族の著書や先日東京で開かれた国際シンポにちなんだ外国語の図書などを展示。「『青鞥』と信州」のパネルも。9月20日～10月9日まで。（9月23日、26日、29日、10月3日は休館）
- ◆ 雑誌『日本の科学者』11月号は「『大逆事件』判決と『青鞥』創刊から100年」を特集。「『大逆事件』から『青鞥』へ」（米田）の論文で、「女のデモクラシー」とは何かを論じています。
- ◆ 9月6日から11月6日まで、大阪人権博物館で『モダンガールズ 青鞥の時代』展。担当者がらいてうの家まで取材に来て再現した「円窓」（廃品利用のエコ作品）をはじめ、『青鞥』の原本やご当地与謝野晶子の生家 駿河屋の「のれん」なども展示。9月17日には米田会長が「『青鞥』とフェミニズム」の講演。

真田らいてうの会ご苦労さん会 — 『青鞥』創刊百周年記念祝祭を終えて

記念祝祭の行われた9月4日は、のろのろと足踏みをしていてすすんでこない台風の影響で、朝からかなりの寒さ。次々と来場される出演者もお客様も寒さに震えている方が大勢でしたが、それでも心配されていた雨は一日中降ることなく祝祭が予定どおりに行われて幸いでした。

「真田らいてうの会」では、この記念祝祭に20人がスタッフとして朝からお手伝いをし、それぞれの持ち場で一日中かかわりました。係りによっては一日中顔をあわせなかった人がいたり、夕方の帰り方も忙しい人は早めに帰ることになったり、挨拶もなしで解散してしまったので、当日かかわったメンバーで昼食をとりながらの反省会兼慰労会を15日に計画し、都合のつかない3、4人を除いて集まりました。早速それぞれの係りとして、また個人としての感想や反省の話が広がりました。なんととっても長小学校児童4人の声量もあり、清しい姿勢がよかったこと、身近な子どもたちが出演したことで、地元の関心も高まったこと等。遠方からの来場者の多さや、顔見知りの真田町の人も何人もいらしてうれしかったし、今回の企画のよさがこんなに多くのお客さんをお呼び集めたのだろうか。

一方、やはりトイレの問題。寒い日だったのも手伝って長い行列になってしまった。観客席が後ろに行くほど下がっているの、前の人の影になってしまって舞台が見えなかった。駐車場が少なかったの遅く来た人は、下のほうで駐車して坂道を歩いて上がる羽目になった。それから用意してもらったお弁当は、おいしくいただいたこともできました。

二日目のイベント「蚕都上田めぐり」に参加したかった人もいて、その話から真田らいてうの会独自で、蚕都めぐりをやりたいと言う話にまで発展して、さてどうなることでしょうか。

いろんな立場で見たり感じたりしたことを、顔を合わせて話し合い、楽しい一時を過ごしました。

真田らいてうの会 斉藤慶子



記念祝祭終了後は「夏の会」の女優さんとみんなで、いつもの楽しい持ち寄り交流会

NPO法人 平塚らいてうの会

東京都文京区小石川5-10-20 5F TEL・FAX 03-3818-8626

ゆうちょ銀行 口座 00150-9-553046 NPO 平塚らいてうの会